

17. 第 18 回高木レクチャーについて

第 18 回高木レクチャー（2016 年 11 月，東京）の予定をお知らせいたします。

高木貞治先生の名を冠した講演会「高木レクチャー」は，世界から卓越した数学者を日本に招聘し，専門分野を越えた数学者や若手研究者・大学院生を主な対象とし，創造のインスピレーションを引き起こすような気概に満ちた研究総説講演を行っていただき，日本発の新たな数学の創造に寄与することを目的としています．高木レクチャーをもとにした研究総説は，査読を経て *Japanese Journal of Mathematics (JJM)* に掲載されることになっています．

この趣旨に基づき「高木レクチャー」の創設が 2006 年 3 月 26 日（日），中央大学で開かれた日本数学会評議員会で承認され，2006 年 11 月に第 1 回高木レクチャーが京都大学数理解析研究所で開催され，今年で 10 周年を迎えました．

第 18 回高木レクチャーは，

日時：2016 年 11 月 5 日（土）

－6 日（日）

場所：東京大学大学院数理科学研究科

主催：日本数学会

東京大学大学院数理科学研究科

組織委員：小野薫，河東泰之，

小林俊行，斎藤毅，中島啓

で開催されます．初日の 11 月 5 日（土）は 12 時 30 分より受付，13 時 30 分開始です．以下の講演者による 2 時間ずつの講演を予定しています．

講演者：

- Ngô Bảo Châu (Univ. of Chicago)
“On Geometry of Arc Spaces, the Hankel Transform and Function Equation of L -Functions”
(弧空間の幾何，ハンケル変換と L 関数の関数等式)
- David Vogan (MIT)
“The Size of Infinite-Dimensional Representations”

(無限次元表現の大きさ)

- Geordie Williamson (MPIM)
“On the Representation Theory of Algebraic Groups”
(代数群の表現論)

高木レクチャーの HP

http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/~toshi/takagi_jp/

で最新情報を掲載いたします．

JJM は，2006 年に 3rd Series として新しい創造を引き起こすような「研究総説論文」を掲載するジャーナルとして生まれ変わりました．

ジャーナルのホームページ

<http://www.springer.jp/JJM/>

では，最新の情報とともに，JJM 3rd Series に掲載された論文のアブストラクトの和訳も掲載しています．

JJM では，広く皆さまからのご投稿をお待ちしています．なお，数学会会員は JJM の個別のバックナンバーを会員割引価格 7500 円（+税 600 円）で日本数学会事務局より購入することも可能です．

(小林俊行 記)